

美瑛高校だより

2020 年 7 月 27 日
北海道美瑛高等学校

高校は将来へのキャリアを積む学びの場所

校長 升 田 重 樹

先日、美瑛町の中学校3年生を対象とした高等学校説明会（旭川市内の高校と合同）において若干の時間を頂きお話をさせていただきました。日頃接することのない中学生の真剣な眼差しを見て、高校生とはまた違う新鮮さがあり話していてとても楽しかったです。「15の春」とよく言いますが、本校の生徒達も、ここをあたりまえの様に通過して本校に入学してきたのではないのでしょうか。但し、中学から高校進学というのはあたりまえかもしれませんが、高校卒業後の進路選択決定は大きく違ってきます。

今更言うまでもありませんが、高校卒業後は就職と進学に分かれますが、一言に就職、進学と言っても、その選択肢は千差万別です。高校生は入学後、早い段階から将来を見据えて学校生活を送らなければなりません。



中学校とは比較にならないほど学ぶこと、やらなければならないことが多いということです。3年生のほとんどの人は今までを振り返り、それを実感しているのではないのでしょうか。

本校ではキャリア教育に力を入れています。これは教科、科目の学びはもちろん、探究学習、課外活動など、学校の教育活動全体を通じた学びを、進路選択やその先の将来にどのようにつなげていくかということを大きな目的としています。



新学習指導要領には「特別活動を要として各教科・科目等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること」と記されました。要となる特別活動とはなんのでしょうか。これは「ホームルーム活動」、「生徒会活動」そして「学校行事」の3つのことです。これからの高校教育の中で、この特別活動が果たす役割は大きいとされています。これらの3つに積極的に参加することは自らの知識及び技能の向上、思考力・判断力・表現力等を身に付け、そして人間関係をよりよくし自己実現を図ることに結びつくのだということを考えなければならないのです。それが「学び」と「気付き」なのです。



そう考えたらホームルームに遅刻をしたり、授業中にスマホをいじったり、居眠りしたりなどはできませんね。そして、学校行事と言ったら学校祭に変わる代替行事案が出てきました。この行事の成功

には生徒一人一人の力が必要です。それが生徒会活動です。決して人任せにはできないのです。

学校や生徒にとっては水や空気のような「特別ではない活動」ですが、それに臨む姿勢によって、かけがえのない特別な存在になるということです。

先に高校は学ぶこと、やらねばならないことがとても多いと言いました。しかし、いくら学び身に付けたことがたくさんあっても、それを卒業後の将来に活かすことができればなにもなりません。学校生活の中で、日々学び鍛えることは、自らの将来のためだ。この一言に尽きるのではないのでしょうか。

夏休みについて

今年度は新型コロナウイルス感染症に振り回されて始まった年度でしたが、早いもので令和2年度も4ヶ月が過ぎようとしており、あと数日で夏休みです。全学年において未曾有の事態に直面し、ここまであったという人が多い人の所感ではないでしょうか。何か特別な難しいことをしたわけではなくても、初体験に身を委ねると、人は想像以上に負担を感じるものです。是非夏休みでしっかり休んで英気を養ってほしいと思います。

ただし！実はしっかり休むこととダラダラ過ごすことでは全く意味合いが違いますし、実は普段通りのバイオリズムを保ちながら休養することの方が心も体も休まるということです。漫然と過ごしていたり、夜遅くまで起きていても朝ゆっくり寝られれば、等という過ごし方では本当の意味では疲れはとれないようです。昨年度も示しましたが、脳科学の視点から「しっかり休む」ことの一例をご紹介します。

- ①睡眠をしっかり取る（早寝早起き朝ご飯を基本としましょう）
- ②適度な休憩と一日の中にリラックスタイムを（ストレッチや趣味、入浴等）
- ③感性に刺激を受ける（美しいものを見たり、感動して泣いたり、心から笑えるものを見たり等）
- ④適度な食事と適度な運動（十分な栄養と適度な運動が必要です）

大事なことはメリハリのある生活を送ることとしっかり栄養・睡眠をとることです。もちろんメンタルの部分でも栄養（感動したり笑ったり等感性への刺激）も大切ですので、夏休み中にしかできないようなこと（ゆっくり映画を見たり本を読みまわったり）もしてみてください。

また、毎年言われることですが、3年生にとっては夏休みは最終的な勝負の分かれ目となります。自分の希望の進路に向けて、今まで着実に準備してきた人は今までどおりの努力で十分対応できますが、この夏休みにどれだけ自分を追い込んでやれるか、どれだけ集中できるかで最後の追い込みに差ができます。

先ほど「メリハリのある生活」と書きましたが、3年生についてはそれらがより求められます。終わったときに「良い夏休みだった」と心から思えるような過ごし方に期待します。



進路に向けた取組について

本校ではキャリア教育に注力していますが、3年生への指導も進路多様校として様々なニーズに対応できるように取り組んでいます。その中で、7月については進路講演会と就職カウンセリングについて紹介します。

7月3日（金）の6校時、本校視聴覚教室にて、ササキ工芸代表取締役の佐々木雄二郎様に来校いただき、「なぜ働かなければならないか」というテーマで進路講演会を実施しました。「働く」とは「人の役に立つこと」であるという結論にわかりやすく導いてくださいました。社会奉仕をしていくために、高校での学びが必要なことを再認識できた貴重な時間でした。



また、7月20日（月）21日（火）の2日間、3年生の就職希望者対象の個別カウンセリングが行われました。就職希望者の意識高揚と、進路実現に必要な情報を手に入れることがねらいで、10名以上の生徒が個別にカウンセリングをしていただきます。講師としてハローワーク旭川より2名の方をお招きし、丁寧にカウンセリングしていただきます。夏休み前後の頑張り次第で、進路決定において大きな差になることもあります。せつ

保護者各位

既にお知らせしたところですが、今年度の夏季休業は8月1日（土）から開始となります。（3年生は5日（水）を除いて8月3日（月）～7日（金）まで授業日）新型コロナウイルス感染症の影響により、学習の機会を保障するための措置ですので、ご理解とご協力をお願い申し上げます（終了は予定どおり8月20日（木）、21日（金）が全校集会です）

また、例年のことですが、学校閉庁日は8月12日（水）～14日（金）までとなりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

皆さん、良い夏休みを！

